

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	3 3 羽田空港の再拡張・国際化と京浜臨海部活性化	
総合評価（検討が必要な事項）		対応内容
一次評価の検証		
<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は概ね妥当であるが、<u>ロボット関連産業、エコ・エネルギー関連産業、ゲノム・バイオ関連産業など新たな産業の創出・集積が進むことについて、分析が必要である。</u> 今後の京浜臨海部活性化のためには従来からある鉄鋼、石油、化学などだけでなく、上記のこれから時代を担う産業の創出が不可欠であることから、これらの産業の活動状況、事業者数等についても分析を行う必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 現在、ロボット関連産業など活動状況を示す指標はありませんが、次回の白書では、その点を踏まえた分析を検討します。
<ul style="list-style-type: none"> 国内景気の回復による増加も大きいと考えられるので、そのような記述が必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> 「国内景気の回復などに伴う鉄鋼、石油、化学などの素材型製造業が活況」など、白書の記載を修正しました。
目標設定の妥当性		
<ul style="list-style-type: none"> 目標設定は妥当である。 		
新たな政策課題		
<ul style="list-style-type: none"> <u>ロボット産業、エコ・エネルギー産業、ゲノム・バイオ産業の創出に向け、民間企業の取り組みへの支援を強化することが必要である。</u> ロボット産業については、県が今後ロボットの需要が見込まれる農業・漁業・林業関係の県の研究所、組合、企業や福祉事業者と、ロボット関連企業とのネットワーク作りを行い、需要の掘り起こしや商品開発に弾みをつけるなど、具体的な取組みを進める必要がある。 京浜臨海部の事業者（大企業、中小企業）の要望を聞きながら、具体的な取組みを検討していく必要がある。 県としては最重要課題であることから、県民が一丸となって国・関係部署への働きかけを強めるとともに、県民運動の実施を検討する必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 「ロボット関連産業の創出に向け、企業間連携やNPOとの協働を推進することにより、民間企業のプロジェクトの立ち上げを支援」や、ゲノム・バイオ関連産業の活性化促進に向け「理化学研究所横浜研究所との連携・協力による、地域産業の振興」や「(財)神奈川科学技術アカデミーなどにおいて、企業の研究者・技術者を対象とした教育講座の開催」など、白書の記述を修正するとともに、引き続き、地元経済団体、企業で構成する「羽田空港国際化・神奈川活性化期成同盟会」と連携したフォーラムの開催などの取組みを進めます。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	3 4 三浦半島の魅力あふれる地域づくり	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
一次評価の検証		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>総合分析は概ね妥当であるが、地域に住む人々がうるおいをもって快適に過ごすというめざすがたに向けた分析を検討する必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、「うるおい」や「快適」を示す適当な指標が少なく分析が困難ですが、次回の白書では、評価結果を参考に、分析を検討します。
目標設定の妥当性		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定は妥当である。 	
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>自然の保全や事業や交通基盤の整備だけでなく、地域住民の生活に関わる取組みも検討する必要がある。</u> ・ きれいな海水浴場、漁港を生かしたイベント、農業振興などに力を注ぐ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画に向けて、検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	3 5 環境共生モデル都市圏の形成	
総合評価（検討が必要な事項）		対応内容
一次評価の検証		
<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 		
目標設定の妥当性		
<ul style="list-style-type: none"> 目標設定は妥当である。 		
新たな政策課題		
<ul style="list-style-type: none"> <u>ツインシティのまちづくりなどについては、今後も地元市町、県民の意見を反映させていく必要があります。</u> 東海道新幹線駅の誘致に関するＪＲ東海の回答内容や、段階的な整備による相模線の複線化の取り組みなどは具体的に県民に示すことにより、県民とともに着実に取り組みを進める必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施する中で、対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	36 相模湾沿岸地域の魅力の保全と創造	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
一次評価の検証		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 	
目標設定の妥当性		
	<ul style="list-style-type: none"> 目標設定は妥当である。 	
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <u>相模湾沿岸の美しい海辺空間を創り出すため、県民、NPO等による自発的な海辺の清掃作業の継続を土砂管理や養浜対策とともに進める必要がある。</u> 緑の保全や環境を意識したクリーンキャンペーン等への県民参加など、地道に県民の輪を広げる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施する中で、対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	37 交流・連携による県西地域の活性化	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
一次評価の検証		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 	
目標設定の妥当性		
	<ul style="list-style-type: none"> 目標設定は妥当である。 	
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <u>地域の活力を高めるため、企業誘致や地場産業の振興を図るための更なる対応を検討する必要がある。</u> 県内で、居住地とは別に余暇を過ごす場所を持つなど、県西部の地域の活性化に向けて、市町村と連携した取組みを進める必要がある。 オゾン、清流、マイナスイオン、緑、自然、絶景などこの地域の魅力を国の内外にPRする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施する中で、対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	38 安全で活力ある県土づくり	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
一次評価の検証		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 	
目標設定の妥当性		
	<ul style="list-style-type: none"> 目標設定は妥当である。 	
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> ハード・ソフトの具体的施策を示すとともに<u>基盤整備だけでなく、ソフト対策においてもより一層の取組みを検討する必要がある。</u> <u>人口減少や高齢化によりバス路線の需要が少なくなり、維持できなくなる中で、公共的な移動手段を確保する必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 「緊急輸送路上の橋りょうの耐震補強」といったハード整備や、「浸水想定区域図や土砂災害警戒区域図の作成」などのソフト対策など、白書の記載を修正するとともに、事業を実施する中で対応を検討します。